

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	キャリア基礎 I		科目コード	28151201		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	1年	前期	60	3	無
授業の概要・目的	日本や日本と母国の架け橋として働くために、必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の習得を目的とする。					
到達目標	新入社員として必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力を修得する。					
評価項目	期末試験(70%)、レポート(25%)、出欠席(5%)					
評価基準	レポート:合宿の振り返りを提出させる。 期末試験:社会人常識マナー検定Japan Basic問題に準ずるような科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	菅原 洋介 須藤 のどか		常勤			
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	「社会人常識マナー検定テキストJapan Basic」エデュプレス					
関連科目	キャリア基礎 II キャリア知識 I キャリア知識 II					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1編 社会常識(日本人の考え方) 2. 第1編 社会常識(日本の生活と文化) 3. 第2編 コミュニケーション(良い人間関係を築くコミュニケーション) 4. 第2編 コミュニケーション(社内外の人とのコミュニケーション) 5. 第2編 コミュニケーション(文書によるコミュニケーション) 6. 第3編 ビジネスマナー(職場のルールとトラブル) 7. 第3編 ビジネスマナー(仕事をスムーズに行うためのビジネスマナー) 8. 第3編 ビジネスマナー(日常生活のマナー) 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	言語基礎 I A			科目コード	28100101	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	1年	前期	40	2	無
授業の概要・目的	日本で就職するために必要となる日本語能力試験JLPTN2取得に必要な語彙・文法の取得を目的とする。					
到達目標	N2レベルの基礎的な語彙・漢字を理解し、日常生活や学生生活の場面において、より複雑な内容が読み、話せるようになる。					
評価項目	期末試験(75%)、語彙テスト・確認テスト(20%)、出欠席(5%)					
評価基準	語彙テスト・確認テスト:各授業で行われ語彙テストと確認テストで理解をはかる。 期末試験:N2レベルの語彙・文法を問うような科目試験を行なう。					
担当教員	高橋 真実			非常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	「TRY!日本語能力試験 文法から伸ばす日本語 N2」ABKアジア学生文化協会 「改訂版 耳から覚える日本語能力試験 語彙トレーニングN2」アルク出版					
関連科目	言語基礎 I B II B 通訳 I II III IV 言語知識 I A II A 言語知識 I B II B 実践ビジネスコミュニケーション I II					
授業計画	<p>第1章 お知らせを読む 第2章 スピーチをする(1) 第2章 スピーチをする(2) 第3章 説明を聞く 第4章 ニュースを聞く 第5章 友達同士の会話 就職活動(1) 第5章 友達同士の会話 就職活動(2) 第6章 友達同士の会話 苦勞した5年間(1) 第6章 苦勞した5年間(2) 第7章 論説文(1) 第7章 論説文(2) 第8章 ビジネス場面の会話</p> <p>Unit1 名詞A Unit2 動詞A Unit3 形容詞A Unit4 名詞B① Unit4 名詞B② Unit5 カタカナA Unit6 副詞A+接続詞</p>					

	Unit7 名詞C Unit8 動詞B Unit9 カタカナB Unit10 形容詞B Unit11 名詞D Unit12 動詞C Unit13 副詞B+連体詞
事前事後学習	

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	言語基礎 I B			科目コード	28100201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	1年	前期	45	2	無
授業の概要・目的	日本語能力試験JLPTN2取得に向けさまざまな話題の長文を読み、文章表現などを理解しながら読解を行う。同時に、感想・意見をまとめ、話す・書くアウトプットを通した、日本語力の定着を目的とする。またトピックの背景となる素養・語彙も増やし、日本人学科との合同授業においてコミュニケーションができるようになることを期待する。					
到達目標	N2レベルの「読む・書く・聞く・話す」能力のうち、読みのストラテジーを身に付ける。情報を素早く正確に読み取り、幅広いトピックに対応できる素養を身に着ける。問題に応じて、スキミングとスキミングの力を使い分ける能力を養い、指定のテーマについてグループワークで意見交換を行い、発表する。					
評価項目	期末試験(75%),確認テスト(20%),出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト:各授業で行われる単元別確認テストで理解をはかる。 期末試験:N2レベルの読解問題と作文。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	N2読解スピードマスター					
関連科目	言語基礎 I A II A 通訳 I II III IV 言語知識 I A II A 言語知識 I B II B 実践ビジネスコミュニケーション I II					
授業計画	1. 内容理解(短文) 2. 内容理解(中文)					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	通訳 I			科目コード	28110101	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	1年	前期	40	2	無
授業の概要・目的	インターンシップ実習等での日誌の記入や日本の社会において、社会人としてきちんとした文章が書け、話せるようにすることを目的とする。また、日本人学科の学生との交流授業で、日本語を理解し、自分の意見や考えを日本語で伝え、グループで発表できるようにする。					
到達目標	文法や作文力を学び、日本語の長文を理解し、書けるようになる。また、母国語を日本語に通訳できるように日本語力を上げるため、日本人学科の学生との合同授業を行う。その中で、指定のテーマについてグループワークで意見交換を行い、発表をする。					
評価項目	期末試験(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト:各授業で行われる単元別確認テストで理解をはかる。 期末試験:文章検定4級問題					
担当教員	川口 芳子			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	基礎から学べる！文章カステップ文章検4級対応 7日でチャレンジ 文章作成ワーク 文章検公式テキスト4級 <公益財団法人 日本漢字能力検定協会> すららネット					
関連科目	言語基礎 I A II A 言語基礎 I B II B 通訳 II III IV 言語知識 I A II A 言語知識 I B II B 実践ビジネスコミュニケーション I II					
授業計画	1.7日でチャレンジ 文章作成ワーク 2.1文を短く 3.つなぎのことば 4. 5W1H 5.話しことばと書きことば 6.事実と意見 7.意見の伝え方 8.伝える順番 9.語彙・文法 10.資料分析 11.文書読解 12.手紙文 13.学習目標を設定し、語彙・文法・読解等を自主学習する(すららネット) 14.日本人科学科との交流授業 15,6 まとめ 各省まとめと模擬試験 各国の宗教と結婚式について(日本人学科との合同授業) 日本人学科との合同授業で、決められたテーマについて日本人学生と意見交換・問題提起をし、グループワークにてパワーポイントを作成し、発表する。					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	ペン字			科目コード	28150901	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	1年	前期	15	1	無
授業の概要・目的	<p>美しい文字(読み手が読みやすく、丁寧に書かれた文字)を書くことの大切さを理解し、その為の正しい姿勢・呼吸・ペンの持ち方を学ぶ。</p> <p>ひらがな、カタカナの成り立ち、漢字基本点画、部首、筆順の解説により、バランスのとれた字形を学ぶ。</p> <p>履歴書・封筒(縦・横)の書式を理解し、美しく紙面にバランスよく書けるようにするとともに学び続ける意欲を持たす。</p>					
到達目標	<p>書き込み式のテキストを使い、ポイントを理解し、反復練習し、上達をはかる。</p> <p>ひらがな、漢字基本点画、部首別解説では、生徒が板書した字をもとに重要ポイントを具体的に応用が利くように解説する。</p> <p>個別指導、声かけにより成長した所、今後取り組むべき課題を明確にし、楽しく学び続ける意欲を持たせる。</p>					
評価項目	履歴書(45%)、封筒たて(10%)、封筒よこ(10%)、礼状たて(10%)、礼状よこ(10%)、授業態度(5%)、感想(5%)、出欠席(5%)					
評価基準	各授業の課題により評価					
担当教員	三宅 佳与			非常勤		
実務経験者による授業	書塾で教鞭をとり30年 現在は学校教員の指導講座ももつ					
テキスト・参考文献	美しく正しい字が書ける ペン字練習帳(新星出版)					
関連科目	キャリア知識ⅢⅣ					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本の習得(ひらがな楷書) 2. カタカナの基本 3. 漢字について 4. 数字とアルファベット 5. はがき、封筒の表書きについて 6. 履歴書について 7. まとめ 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	パソコン演習 I (Word)			科目コード	28160101	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	1年	前期	30	1	無
授業の概要・目的	パソコンの操作方法や日本語入力の基礎から、フォルダーやファイルの操作の基本を最初に学ぶ。以降はテキストのWordで文書作成、画像挿入など基本的な操作を身に付けて自己紹介書を作成する。					
到達目標	Wordの基本的なしくみと機能を理解し、ビジネスで必要となる基本的なスキルを習得する。					
評価項目	提出課題(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	提出課題:各単元終了ごとに課題提出し、達成度、理解度の確認を行う。 期末試験では、最終課題としてWordで自己紹介書の作成を行う。デザイン性だけでなく、学習した機能や文書作成からも判断し評価をする。					
担当教員	森谷 郁恵			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	「留学生のためのかんたんWord/Excel/PowerPoint入門」					
関連科目	パソコン演習 II III IV (Excel/PowerPoint)					
授業計画	1章 パソコン操作と日本語入力の基本編 2章 フォルダーやファイル操作の基本編 3章 Word編 ・Word課題 ・自己紹介書作成					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	Webサイト制作演習 I			科目コード	28131101	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	1年	前期	20	1	無
授業の概要・目的	Webサイトの制作手法について学び、サイトの閲覧の仕組みやWebページの制作に必要な注意事項を理解することを目的とする。					
到達目標	HTML5によるWebページ作成方法の基礎を理解する。					
評価項目	課題提出(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト:各授業で行われる単元別確認テストで理解をはかる。期末試験:HTML5に準ずる科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	藤原 直樹			常勤		
実務経験者による授業	SEプログラマー 5年					
テキスト・参考文献	30時間でマスター Webデザイン 改訂版 (実務教育出版株式会社)					
関連科目	Webサイト制作演習 II Webサイト制作演習 III (HTML, CSS)					
授業計画	<p>1章 Webサイト制作の基礎</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Webサイト制作の基礎技術 2. Webサイトを制作する前に 3. Webデザインの基礎 4. Webの配色 5. Webサイトの制作手順 6. Webサイト制作の準備 <p>2章 HTMLの基礎</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. HTMLの基本要素 2. 見出し・段落・強調 3. 文字要素 4. リスト 5. 画像 6. ハイパーリンク 7. ページ構造と文書構造の設定 8. ページ内リンク <p>※自己紹介ページ制作</p>					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	CAD演習 I (3D)			科目コード	28131901	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	1年	前期	30	1	無
授業の概要・目的	製造業界などで活用されている3DCADについて、イメージを作り実際にモデリング基礎から実践まで体系的に学び、基本的な立体の作図ができることを目的とする。					
到達目標	TinkerCADを使って、3D CADの基本知識と技術を修得し、図面を作成することができる。					
評価項目	期末試験(55%)、課題提出(40%)、出席率(5%)					
評価基準	課題提出:課題制作の提出により判定し評価する。 期末試験:3D CADの基本的な知識・理解を網羅的に問う。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	玉置 順一 高森 保旨			非常勤		
実務経験者による授業	機械系大学にて、機械設計・材料力学等の機械系分野を履修後、ソフトウェア企業にて工業系システムエンジニアとして、システム開発の上流工程から下流工程、運用と幅広く従事した経験を活かし、情報系実習指導を行う。					
テキスト・参考文献	自校作成テキスト					
関連科目	CAD演習 V (2D) CAD演習 II (2D) 1年 CAD演習 II (2D) 2年					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 3DCA概念 2. コマンドの基本操作 3. 図形の作図 4. マグカップの作図 5. 簡易キャラクター作図 6. 建築物作図① 7. 建築物作図② 8. 機械構造物作図① 9. 機械構造物作図② 10. 総合演習 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	労務管理 I			科目コード	28140101	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	1年	前期	30	1	無
授業の概要・目的	グローバル社会が進む中で、留学生が採用された企業において、安心、安全に働くことができ、企業内での活動が円滑にできるようにする。そのために労働基準法を中心とする関連法令を修得することを目的とする。					
到達目標	労働法や日本の企業での就業規則等について理解する。また、母国に帰国する場合の注意事項について理解する(労働関係終了後の手続き等)					
評価項目	期末試験95%)、出欠席5%)					
評価基準	確認テスト: 単元別確認テストで理解をはかる。 期末試験: 労働関係法令の基本的な知識・理解を網羅的に問う。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	小田 佑実			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	「図解でやさしい! 労務管理がすべてわかる本」ソーテック社					
関連科目	労務管理 II 貿易実務 I					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 労務管理とは 2. 労働基準法の基本 3. 労働契約と労働条件の明示 4. 就業規則と職場ルール 5. 労働時間 6. 休憩・休日・勤務形態 7. 時間外労働と36協定 8. 割増賃金(残業代)と計算 9. 賃金のルールと最低賃金 10. 年次有給休暇・生理休暇・妊娠・出産・育児・介護 11. 社会保険・労働保険の基本 12. 労災・ハラスメント・健康診断 13. 解雇・退職・派遣 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	日本語能力試験Ⅰ			科目コード	28120101	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	1年	前期	45	2	無
授業の概要・目的	<p>日本語能力試験合格を目的とする。</p> <p>語彙・文法・聴読解・会話作文の各授業で学んだ内容を、JLPT試験の問題答練として演習し、確実に合格できるようにしていく。</p> <p>日本語能力試験JLPTの試験を同様の形式で行うことにより、自身の課題発見につなげる。</p>					
到達目標	日本語能力試験の語彙、文法、聴解・読解の各分野について、試験のレベルに対応した問題が理解できる。					
評価項目	期末(模擬)試験(85%)、提出物(10%)、出席率(5%)					
評価基準	期末試験:対策期間中に実施した模擬試験の平均点で評価。					
担当教員	高橋 真実			非常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	「日本語能力試験ベスト総合問題集」ジャパンタイムズ					
関連科目	日本語能力試験Ⅱ 日本語能力試験Ⅲ 日本語能力試験Ⅳ 日本語能力試験Ⅴ					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文字・語彙答練 2. 文法答練 3. 読解答練 4. 聴解答練 5. 模擬試験① 6. 言語知識 7. 模擬試験② 8. 聴解 9. 模擬試験③ 10. 言語知識 11. 弱点問題答練 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	キャリア基礎Ⅱ		科目コード	28151301		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	1年	後期	60	3	無
授業の概要・目的	留学生にとって、日本や日本の母国の架け橋として働くために、必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力の修得を目的とする。					
到達目標	Ⅰに引き続き、新入社員として必要な社会常識、ビジネスマナー、コミュニケーション能力を修得する。					
評価項目	期末試験(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト: 単元別確認テストで理解をはかる。 期末試験: 社会人常識マナー検定Japan Basic問題に準ずるような科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	菅原 洋介 須藤 のどか			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	「改訂ビジネスマナー・基本テキスト」(キャリア総研)					
関連科目	キャリア基礎Ⅰ キャリア知識ⅠⅡ					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1章 ビジネスマナーの基本 2. 第2章 社内のビジネスマナーとルール 3. 第3章 電話のマナー 4. 第4章 対応のマナー 5. 第5章 ビジネス文書の基本マナー 6. 第6章 慶弔・贈答・会食のマナー 7. 第7章 国際ビジネスマナー 8. キャリア実習準備 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	言語基礎ⅡA			科目コード	28100301	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	1年	後期	40	2	無
授業の概要・目的	日本で就職するために必要となる日本語能力試験JLPTN2取得に必要な語彙・文法の取得を目的とする					
到達目標	Iに引き続き、日本社会で働く上で必要な日本語の語彙、漢字、文法を学習し、各自が目指すJLPTのレベルの日本語能力を修得する。					
評価項目	期末試験(75%), 語彙テスト・確認テスト(20%) 出欠席(5%)					
評価基準	語彙テスト・確認テスト: 各授業で行われ語彙テストと確認テストで理解をはかる。 期末試験: N2レベルの語彙・文法を問うような科目試験を行なう。					
担当教員	高橋 真実			非常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	「TRY!日本語能力試験 文法から伸ばす日本語 N2」ABKアジア学生文化協会 「改訂版 耳から覚える日本語能力試験 語彙トレーニングN2」アルク出版					
関連科目	言語基礎ⅠA 言語基礎ⅠB ⅡB 通訳ⅠⅡⅢⅣ 言語知識ⅠA ⅡA 言語知識ⅠB ⅡB 実践ビジネスコミュニケーションⅠⅡ					
授業計画	第9章 友達同士の会話 食べ放題(1) 第9章 友達同士の会話 食べ放題(2) 第10章 エッセーを読む 満員電車(1) 第10章 エッセーを読む 満員電車(2) 第11章 記事を読む 第12章 ビジネスの場面の会話 ウォーキングシューズの開発(1) 第12章 ビジネスの場面の会話 ウォーキングシューズの開発(2) 第13章 ストーリーを読む 人生の転機(1) 第13章 ストーリーを読む 人生の転機(2) 第14章 社説を読む					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	言語基礎ⅡB			科目コード	28100401	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	1年	後期	40	2	無
授業の概要・目的	日本語能力試験JLPTN2取得に向けさまざまな話題の長文を読み、文章表現などを理解しながら読解を行う。同時に、感想・意見をまとめ、話す・書くアウトプットを通じた、日本語力の定着を目的とする。またトピックの背景となる素養・語彙も増やし、コミュニケーションができるようになることを期待する。					
到達目標	Iに引き続き、日本社会で働く上で必要な日本語の文章読解を学習し、各自が目指すJLPTのレベルの日本語能力を修得する。					
評価項目	期末試験(75%),確認テスト(20%),出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト:各授業で行われる単元別確認テストで理解をはかる。 期末試験:N2レベルの読解問題と作文。					
担当教員	岡崎 良美			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	N2読解スピードマスター					
関連科目	言語基礎ⅠA ⅡA 言語基礎ⅠB 通訳Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ 言語知識ⅠA ⅡA 言語知識ⅠB ⅡB 実践ビジネスコミュニケーションⅠ Ⅱ					
授業計画	3. 統合理解 4. 主張理解(長文) 5. 情報検索					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	経営マネジメント概論 I			科目コード	28140301	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	1年	後期	45	2	無
授業の概要・目的	企業活動、法務、経営戦略マネジメントの各分野について広く俯瞰的に学ぶ。留学生が日本の企業に就職し、活躍するために有益な経営・法務・ビジネス知識を身につけることを目的とする。					
到達目標	企業活動、法務、経営戦略マネジメントについての基本的な知識を身につけ、専門用語を理解することができる。					
評価項目	期末試験(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト: 単元別確認テストで理解をはかる。 期末試験: 企業活動、法務、経営戦略マネジメントの各分野について、基本的な知識・理解を網羅的に問う。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	菅原 洋介			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	「かやのき先生のITパスポート教室」技術評論社					
関連科目	経営マネジメント概論 II 経営学					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 財務諸表 2. 損益分岐点と資産管理 3. 知的財産権 4. セキュリティ関連・個人情報関連法規 5. 労働関連・取引関連法規 6. 業務分析 7. データ利活用と問題解決 8. 標準化 9. 第4次産業革命とビッグデータ 10. 企業活動 11. 企業統治と内部統制 12. 経営戦略 13. 情報システム戦略と業務プロセス 14. マーケティング戦略 15. 技術戦略 16. 業績評価と経営管理システム 17. ビジネスシステムとエンジニアリング 18. e-ビジネス 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	パソコン演習Ⅱ (Excel/PowerPoint)			科目コード	28160201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	1年	後期	40	2	無
授業の概要・目的	社会人として最低限として必要とするExcel、powerpointの基礎を学ぶ。Excelでは基本的なグラフ作成、関数を身に付ける。PowerPointの基本的な操作を学び、スライドを作成ができるように身に付ける。					
到達目標	Excel/PowerPointの基本的なしくみと機能を理解し、ビジネスで必要となる基本的なスキルを習得する。					
評価項目	提出課題(95%)、出欠状況(5%)					
評価基準	提出課題:各单元終了ごとに課題提出し、達成度、理解度の確認を行う。 期末試験では、最終課題としてExcelのグラフを用いたpowerpointでの自己紹介文を作成し、評価を行う。					
担当教員	森谷 郁恵			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	留学生のためのかんたんWord/Excel/PowerPoint入門(技術評論社)					
関連科目	パソコン演習Ⅰ Ⅲ Ⅳ					
授業計画	4章 Excel編 5章 PowerPoint編 ・Excel課題 ・powerpoint課題 ・最終課題作成					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	通訳Ⅱ			科目コード	28110201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	1年	後期	40	2	無
授業の概要・目的	日本で社会人になるために必要となるビジネスレベルでの日本語の習得、就職活動で必要となる手紙文、自分の意見を正しく伝える意見文を学び、文書検定合格を目標とする。文章のアウトプットとして学内新聞を発行することを目的とする。					
到達目標	通訳Ⅰで学んだ基本的な文章表現のルールの幅を広げ、豊かに表現し、文章の構造を意識しながら話せるようになる。また、母国語を日本語に通訳できるように、より高度な通訳スキルを身につける。					
評価項目	期末試験(文章検定4級問題)(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	文書検定の過去問題も何度か行い点数も評価の対象にする。 期末試験は文書検定4級レベルの語彙、手紙文、二段落での意見文で評価をする。					
担当教員	川口 芳子			常勤		
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	テキスト:基礎から学べる!文章カステップ文章検4級対応 文章検公式テキスト4級 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 すららネット					
関連科目	言語基礎ⅠA ⅡA 言語基礎ⅠB ⅡB 通訳Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ 言語知識ⅠA ⅡA 言語知識ⅠB ⅡB 実践ビジネスコミュニケーションⅠ Ⅱ					
授業計画	1 学内新聞の作成 2 基礎から学べる!文章カステップ文章検4級対応 <第5章>意見文 3 まとめ問題 4 模擬試験 5 すららネット 6 新聞作成					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	CAD演習Ⅱ(2D)			科目コード	28132001	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	1年	後期	30	1	無
授業の概要・目的	JIS機械製図の手法を説明しながら、簡単な機械要素の製図を通じて、物体表現の方法と2次元CADの特徴および基本的な操作法を実習によって習得することを目的とする。					
到達目標	2D CADを使って、実際の業務で通用する図面を読む力、描く力、空間認識力を身につける。					
評価項目	期末試験55%)、課題提出40%)、出席率5%)					
評価基準	課題提出:課題制作の提出により判定し評価する。 期末試験:2D CADの基本的な知識・理解を網羅的に問う。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	玉置 順一			非常勤		
実務経験者による授業	機械系大学にて、機械設計・材料力学等の機械系分野を履修後、ソフトウェア企業にて工業系システムエンジニアとして、システム開発の上流工程から下流工程、運用と幅広く従事した経験を活かし、情報系実習指導を行う。					
テキスト・参考文献	2025年度版CAD利用技術者試験2次元2級・基礎公式ガイドブック 日経BP					
関連科目	CAD演習Ⅰ(3D) CAD演習Ⅴ(2D) CAD演習Ⅱ(2D)2年					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1章 CADシステムの知識と利用 2. 第2章 CADシステムのプラットフォーム 3. 第3章 CADシステムの関連知識 4. 第4章 製図の知識 5. 第5章 図形 6. 2級サンプル試験問題 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	コンピュータシステム I			科目コード	28130101	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	1年	後期	40	2	無
授業の概要・目的	テクノロジ系の基礎となる情報の基礎理論やハードウェア、ソフトウェア等に関する分野の知識を網羅的に学び理解することを目的とする。					
到達目標	コンピュータに関わる様々な基本原理や基礎技術について学習する。					
評価項目	期末試験(95%)、出欠席(5%)					
評価基準	期末試験:コンピュータ概論の全体像を問うような科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	藤原 直樹			常勤		
実務経験者による授業	SEプログラマー 5年					
テキスト・参考文献	情報処理試験合格へのパスポート コンピュータ概論 (シラバス9.0対応) ウイネット					
関連科目	コンピュータシステム II コンピュータシステム III					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション コンピュータとは 2. 第1章 コンピュータの基礎知識 3. 第2章 コンピュータの数値表現 4. 第3章 ハードウェア 5. 第4章 システムの構成要素 6. 第5章 ソフトウェア 7. 第6章 マルチメディア 8. 第7章 AI 9. 第8章 アルゴリズムとデータ構造 					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	Webサイト制作演習Ⅱ			科目コード	28131201	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	1年	後期	30	1	無
授業の概要・目的	Iで制作手法及び技術面について学習した内容を復習し、演習課題を通じて自力でWebサイトを制作できることを目的とする。					
到達目標	Iで学んだ基礎力を活かし、HPを完成させるために必要な知識や情報伝達手段について理解する。主体的に学びを深めることで、Webサイトを自分で制作できる。					
評価項目	期末試験(65%)、制作物(30%)、出欠席(5%)					
評価基準	制作物:他己紹介や都道府県ページを作成しプレゼンテーションを行いアウトプットする。その表現結果により評価する。 期末試験:HTMLの全体像を問うような科目試験を行なう。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	伊藤 宏一郎			常勤		
実務経験者による授業	SEプログラマー 3年					
テキスト・参考文献	30時間でマスター Webデザイン 改訂版 (実務教育出版株式会社)					
関連科目	Webサイト制作演習Ⅰ Webサイト制作演習Ⅲ(HTML,CSS)					
授業計画	2章 HTMLの基礎 1. HTMLの基本要素 2. 見出し・段落・強調 3. 文字要素 4. リスト 5. 画像 6. ハイパーリンク 7. ページ構造と文書構造の設定 8. ページ内リンク ※他己紹介 Webページ制作 ※都道府県 Webページ制作					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	ビジネス英語 I			科目コード	28150701	
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修講義	1年	後期	20	1	無
授業の概要・目的	グローバル社会が進む中で、日本の企業においても外国人の採用が積極的に行われている。日本で日本人と一緒に勤務する上では日本語コミュニケーション力が必要であるが、海外展開をしていく上では、共通語である英語コミュニケーション力が求められる。母国語・日本語と同じように英語でも対応できる基礎英語の理解を身につけることを目的としている。					
到達目標	世界の共有目標であるSDGsについて考え、その解決策について英語で表現できるようになる。また、日本人学科との合同授業の中で、日本と母国のSDGsについて意見交換し、グループワークの中で意見をまとめて発表する。					
評価項目	期末試験(75%)、確認テスト(10%)、提出物(10%)、出欠席(5%)					
評価基準	確認テスト: 単元ごとの単語テストを行う。 提出物: 決められた単元の発話を動画で撮影し、発音のレベルをはかる。 期末試験: 単元ごとの翻訳、まとめ問題、単語等の科目試験を行う。その試験結果により判定し評価する。					
担当教員	川口 芳子			常勤		
実務経験者による授業	実務経験: 米国大学卒業後、英会話教室にて幼児～高校生までに英会話を教えていた経験を活かし、学生が、留学生が就職する時に必要なビジネス英会話が理解できるよう講義する					
テキスト・参考文献	CNN Short News for Listening SDGs (朝日出版)					
関連科目	ビジネス英語Ⅱ Ⅲ					
授業計画	<p>1 基本会話 あいさつと自己紹介 日常の挨拶ができ、自己紹介を1分間でできるようにする</p> <p>2 SDGs1 No Poverty(貧困をなくそう)</p> <p>3 SDGs17 Partnerships for the Goals(パートナーシップで目標を達成しよう)</p> <p>4 SDGs4 Quality Education(質の高い教育をみんなに)</p> <p>5 SDGs8 Decent Work and Economic Growth(働きがいも経済成長も)</p> <p>6 SDGs10 Reduced Inequalities(人や国の不平等をなくそう)</p> <p>7 SDGs12 Responsible Consumption and Production (つくる責任、つかう責任)</p> <p>8 まとめ SDGsおよび日本分間に関する知識をまとめる</p>					
事前事後学習						

国際ITビジネス学科 令和8年度シラバス

科目名	日本語能力試験Ⅱ		科目コード	28120201		
	区分	開講時期		時間数	単位数	企業連携
	必修演習	1年	後期	50	2	無
授業の概要・目的	<p>日本語能力試験合格を目的とする。</p> <p>語彙・文法・聴読解・会話作文の各授業で学んだ内容を、JLPT試験の問題答練として演習し、確実に合格できるようにしていく。</p> <p>日本語能力試験JLPTの試験を同様の形式で行うことにより、自身の課題発見につなげる。</p>					
到達目標	日本語能力試験の語彙、文法、聴解・読解の各分野について、試験のレベルに対応した問題が理解できる。					
評価項目	期末(模擬)試験(85%),提出物(10%),出席率(5%)					
評価基準	期末試験:対策期間中に実施した模擬試験の平均点で評価。					
担当教員	高橋 真美		非常勤			
実務経験者による授業	なし					
テキスト・参考文献	「日本語能力試験ベスト総合問題集」ジャパントイムズ					
関連科目	日本語能力試験Ⅰ 日本語能力試験Ⅲ 日本語能力試験Ⅳ 日本語能力試験Ⅴ					
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文字・語彙答練 2. 文法答練 3. 読解答練 4. 聴解答練 5. 模擬試験① 言語知識 6. 模擬試験② 聴解 7. 模擬試験③ 言語知識 8. 弱点問題答練 					
事前事後学習						